

# すべてのアスベスト被害者・家族に公正・平等な補償を求める 11.23-24 国際アスベスト会議に参加を!

2005年夏のクボタ・ショックは、アスベスト被害が労働者の職業病にとどまらない、工場や鉱山等の周辺に住む/住んだことのある近隣住民や一般住民に対する公害病をも引き起こす恐るべき産業災害であることを私たちに突きつけました。

しかし、このような事態は、日本だけのことで、ましてや日本が初めてのことでありません。各国で様々な困難を克服して患者と家族が立ち上がり、労働者や市民、専門家等と協力して、多彩な取り組みが展開されてきました。また、起こってしまった負の遺産から将来への教訓を得るべく、因果関係の解明や、被害の全貌の把握と追跡調査等もなされてきました。

さらに労働者だけでなく公害被害者等に対する補償システムを確立する努力も積み重ねられています。そして、そこで重視されていることは、システムの設計や運営に被害者・家族自らが関与することを含めて、すべてのアスベスト被害者・家族に対する公正・平等な補償をどうやって実現するかということにほかなりません。

そうした活動に献身している海外の代表をお招きして、以下の点に焦点をあてながら各国の経験を比較・共有して世界共通の解決策を探る国際アスベスト会議を開催いたします。

- ① 労働者ばかりでなく社会全体にひろがりつつあるアスベスト被害の実像
- ② アスベスト被害者とその家族、影響を受けた労働者や住民による取り組み
- ③ すべてのアスベスト被害者・家族に対する公正・平等な補償

これは、1987年に結成された石綿対策全国連絡会議の結成20周年記念行事の一環として開催されるもので、他にも、写真展、記念ブックレットの出版、20周年パーティが企画されています(裏面参照)。

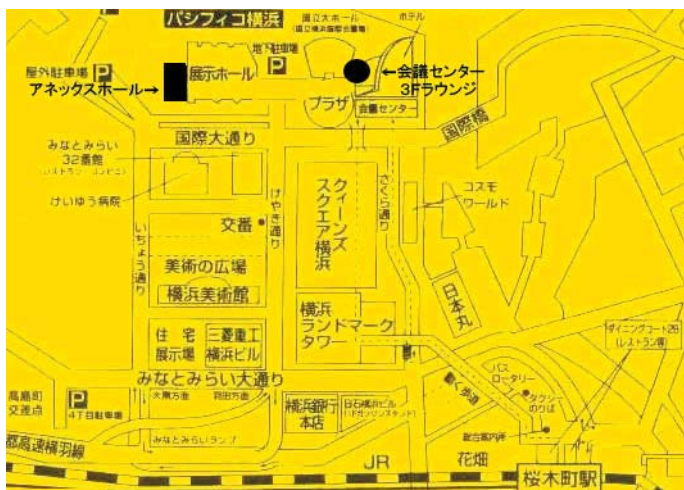
ふるってご参加ください。



日時: 11月23日(金)-24日(土) 10:00~17:30

会場: パシフィコ横浜アネックスホール

参加費: 3,000円(要事前申込)



「みなとみらい」駅より徒歩、または、「桜木町」駅が「横浜」駅よりタクシー利用をお勧めします。

【みなとみらい線「みなとみらい」駅より徒歩7分】

「クイーンズスクエア連絡口」より左手奥、赤の長いエスカレーターを利用、正面のエスカレーターを乗り継ぎ2Fへ、「クイーンズスクエア」を左手にまっすぐ通り抜けるとパシフィコ横浜(ここまで「パシフィコ横浜」の方向指示があります)。そのまま展示ホール2Fに入って一番奥がアネックスホールです。「みなとみらい」駅へは、JR東海道線、湘南新宿ラインを利用、「横浜」下車し、みなとみらい線に乗り換え、または、渋谷駅より東急東横線(特急)利用(みなとみらい線へ直通運転)。いずれも約30分です。

【「桜木町」駅よりタクシーで5分、横浜駅(乗場は東口ポルタ地下2F)よりタクシー7分】

タクシーには、「パシフィコ横浜展示ホール1F「Dゲート」」と行き先を指定してください。1F「Dゲート」から展示ホールに入り最寄りのエレベーターで2Fに上がるとアネックスホールです。

「桜木町」駅から徒歩だとアネックスホールまで約30分かかります。

※より詳しくは以下を参照してください。http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html

## 石綿対策全国連絡会議

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5F TEL (03) 3636-3882/FAX (03) 3636-3881

E-mail: banjan@au.wakwak.com URL: http://park3.wakwak.com/~banjan

# すべてのアスベスト被害者・家族に公正・平等な補償を求める 11.23-24 国際アスベスト会議

パンフィコ横浜 アネックスホール F205+206 参加費 3,000円(同時通訳付き、両日共通、1日でも2日でも同額です。)

時間	2007年11月23日(金)	2007年11月24日(土)
09:00	開場	開場
10:00	「尼崎の旧石綿管工場の周辺住民におけるアスベスト関連疾患」 熊谷信二(大阪府立公衆衛生研究所) 「日本の全国的状況と被害責任」村山武彦(早稲田大学理工学術院・教授) 「石綿病のグローバルな流行に対する国際比較手法の適用」高橋謙(産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学教授) 「日本における補償・救済の現状と課題—取材を通して見たこと考えたこと」大島秀利(毎日新聞編集委員)	「日本の取り組み①」全日本港湾労働組合 「日本の取り組み②」(社)神奈川労災職業病センター 「日本の取り組み③」全国建設労働組合総連合 「日本の取り組み④」中皮腫・アスベスト関連疾患・患者と家族の会  「日本におけるアスベスト問題の過去と現在—石綿対策全国連絡会議の20年」古谷杉郎(石綿対策全国連絡会議事務局長)
12:00	昼食休憩	昼食休憩
13:30	「イギリスにおける最近の進展—補償、医療、政治的支援」ローリー・カザンアレン(ブリティッシュ・アスベスト・ニュースレター編集者、アスベスト禁止国際書記局(IBAS)コーディネーター、イギリス) 「すべてのアスベスト被害者・家族の正義の実現に向けたフランスのアプローチ」アニー・テボモニ(国立衛生医学研究所現代社会公衆衛生問題研究所(INSERM)、フランス) 「ベルギーにおけるアスベスト被害者・家族の取り組みとその到達点」エリック・ジヨクヒア(ベルギー・アスベスト被災者協会(ABEVA)、ベルギー) 「アスベスト曝露への補償に対するオランダのアプローチ: 訴訟から仲裁まで」イヴォンス・ウォーターマン(法律コンサルタント、オランダ)	「尼崎、その前例と後に続くもの?—アスベストの負の遺産から学ぶべき教訓」車谷典男(奈良県立医科大学・地域健康医学教室教授) 「韓国・釜山における環境アスベスト曝露と悪性中皮腫の関係」カン・トンムク(姜東黙、釜山国立大学医学部予防・労働医学科助教授) 「産業病の社会的可視性—日仏比較研究から見える課題」ポール・ショパン(パリ・デイトロ大学助教授、フランス) 「ひとつの災害、多様なアプローチ—アスベスト補償」リタ・ミュラー(弁護士、ミュンヘン再保険会社、ドイツ) 「石綿健康被害救済制度について」上河原献二(独立行政法人環境再生保全機構石綿健康被害救済部部長)
15:10	休憩	休憩
15:30	「イタリアにおけるアスベスト起因疾患及びクリソタイルの発がん性」ベルネデット・テラッチーニ(元トリノ大学教授(がん疫学)、イタリア) 「アメリカにおける環境曝露、補償、アスベスト禁止」ハリ・キャッスルマン(環境コンサルタント) 「韓国における隠れたアスベスト問題—なぜ人々に見えなくさせられているか?」ベク・トンミョン(白道明、ソウル大学保健大学院産業保健学教授) 「アジアにおける草の根のアスベスト・キャンペーン」サンジ・パンディタ(労災被災者の権利のためのアジア・ネットワーク(ANROAV)、アジア・モニター・リソースセンター(AMRC、香港)労働安全衛生オフィサー)	討論①「社会全体にひろがるアスベスト被害の実像をめぐって」 討論②「アスベスト被害者・家族の取り組み及び補償・救済制度をめぐって」  「すべてのアスベスト被害者・家族に公正・平等な補償を求める横浜宣言(仮称)」の採択(予定)
17:30		敬称略 ※プログラムは変更される場合があります。

## 「明日をください」 写真展●アスベスト公害と患者・家族の記録

上記国際アスベスト会議と同じ日程・時間帯で、パンフィコ横浜 展示ホール2F-E205で開催  
参加費:無料

11.23 結成20周年パーティ		記念ブックレットの出版	
パンフィコ横浜 会議センター3Fラウンジ 参加費 7,000円		国際アスベスト会議または結成20周年パーティ参加者に 下記の3冊をもしも進呈いたします。	
2007年11月23日(金)			
18:00	全国連代表挨拶 記念ブックレット発行の紹介 来賓挨拶 海外ゲスト	①アスベスト問題の過去と現在—石綿対策全国連絡会議(BANJAN)の20年	②アスベスト問題は終わっていない! 石綿健康被害救済法一周年 検証シンポジウム(2007年3月25日)の記録 ③未来を奪う—アジアのアスベスト使用(Killing the Future—Asbestos use in Asia 日本語訳)
20:00	その他		

【参加を希望される方は事前にお申し込みください(同時通訳機器に限りがあります。)]  
国際アスベスト会議 3,000円、結成20周年パーティ 7,000円、セットチケット 10,000円